

新人研修&エンジニア研修

Text Samples

(株)雄交 研修資料 №2

生産管理の基礎

現場の作業者に求められる役割とは

作業現場へ求められる役割

現場に
求められる役割
(広義)

企業利益創出への貢献
経済性追求の原則

原価の低減、作業現場における判断基準は、その
案件が原価を低減できるかどうかにある。

作業現場に
求められる役割
(狭義)

- 作業の完遂
 - 標準作業の遵守
- (S.Q.C.D.Mの確保)

S:安全、Q:品質、C:コスト、D:納期、M:モラル

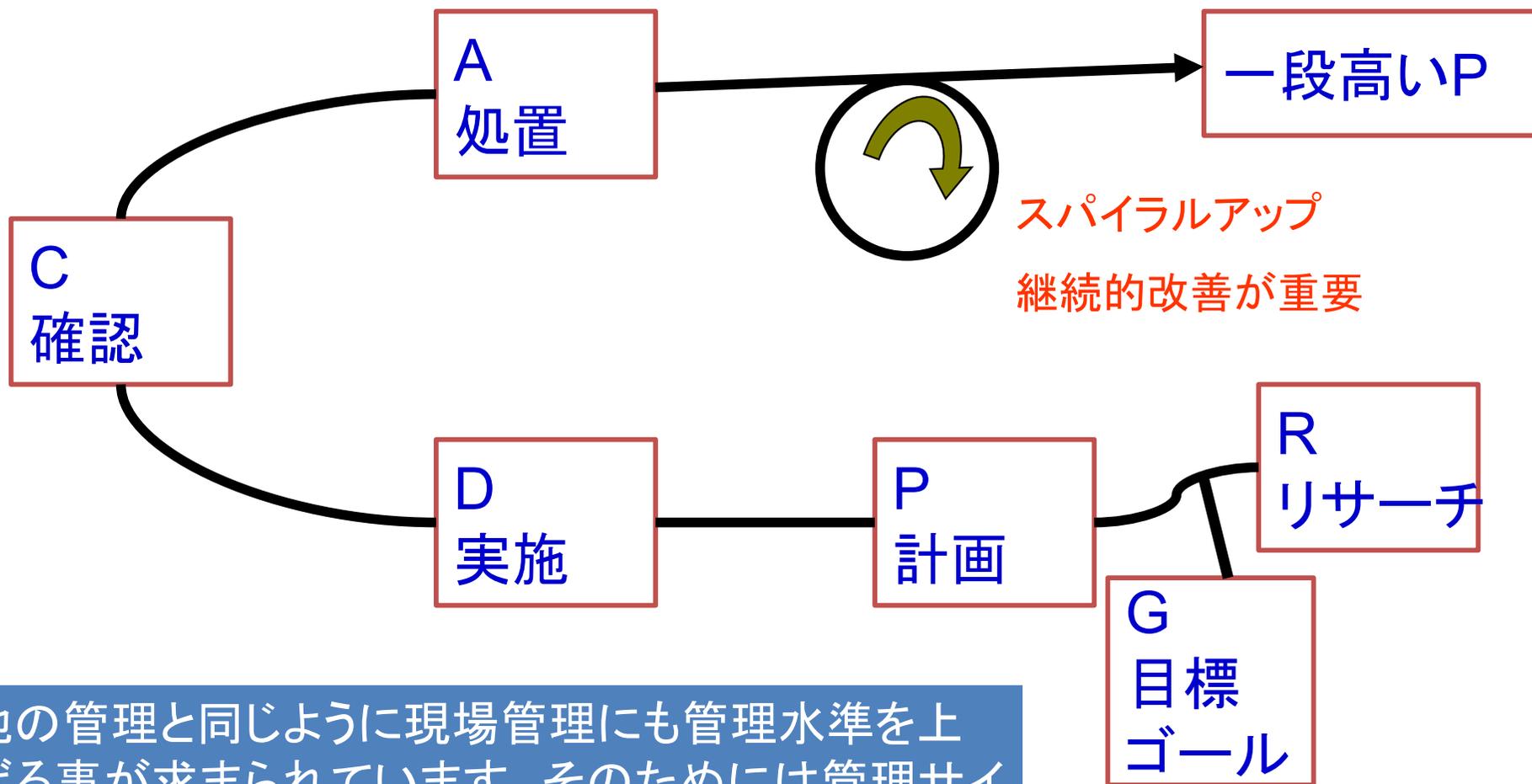
- 作業の4Mの維持向上
- 新作業の垂直立ち上げ
- 新技術、新工法への対応
- その他の活動に必要な事項
- 自らが会社の代表として、顧客へ対応

求められる品質の作業(サービス)を、
必要とする時に、必要とする量だけ、
効率かつ安全に完遂する事

- ヒト(Man)
- 機械、設備(Machine)
- モノ、材料(Material)
- 方法、手順(Method)

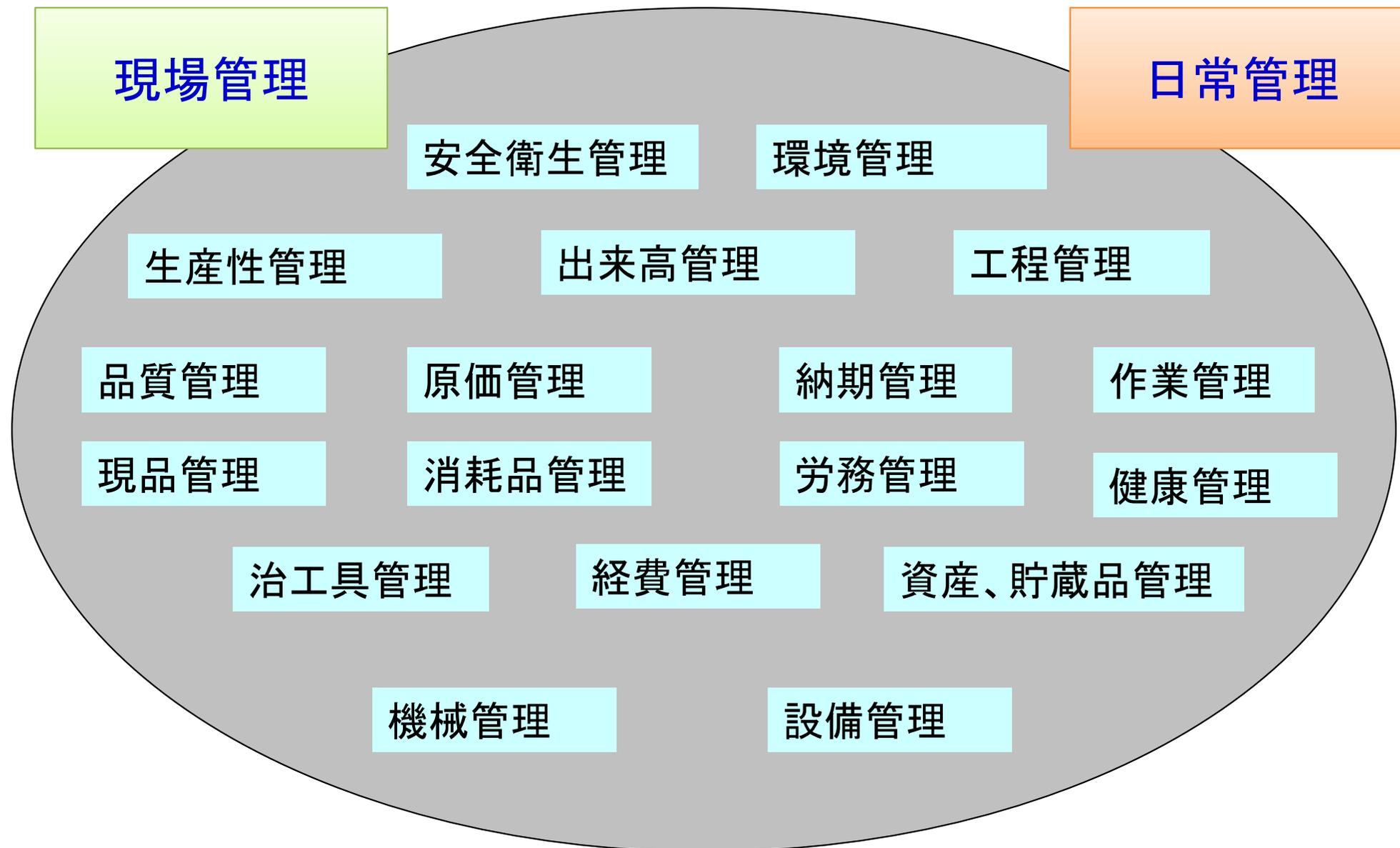
この研修は、新人や経験の浅い方へ4Mの維持向上
を行う上で自らの役割は何なのかを再認識してもらい、
自ら行動がとれるように、必要な知識や手法を伝授
する資料です。

管理のサイクル



他の管理と同じように現場管理にも管理水準を上げる事が求まられています。そのためには管理サイクル、いわゆるRG-PDCA (PDCA)のサイクルを確実に回す事が大切です。

現場管理の内容



3. 現場管理(機械管理)の内容を把握

現場管理の具体例

管理項目

出来高

安全

作業効率

故障発生率

出勤率

各種口管理

不具合発生状況

納期管理

改善提案

5S

SDGs

経費使用状況

健康管理

資材管理

ISO品質・環境

消耗品管理

設備機械保守

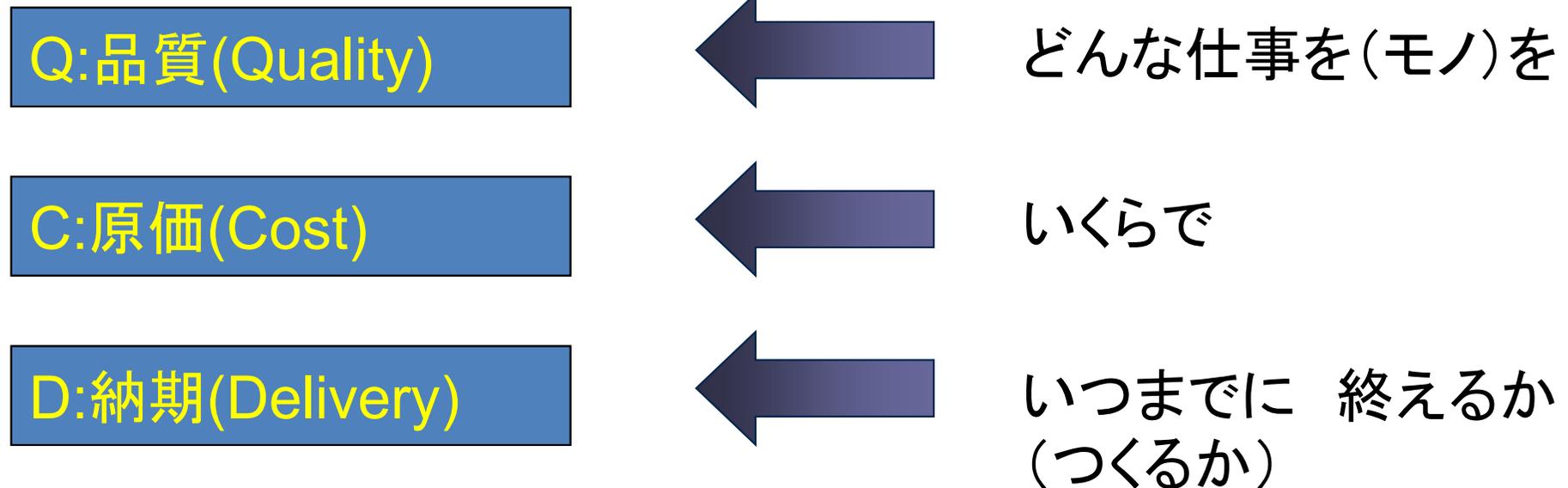
人財育成(スキル)

作業環境管理

製品の三要素とは

生産現場のアウトプットである製品を生産する場合に、どのような品質のモノを、いくらで、いつまでに、何個つくるかが具体的に提示されていないと、生産現場では、生産を開始する事はできません。

つまり、製品を生産するには、**品質**、**原価**、**納期**、の三つの要素のことを**製品の三要素**、または**生産管理の三要素**と呼んでいます。



5. 異常処理(異常時の対応)を適切に行う

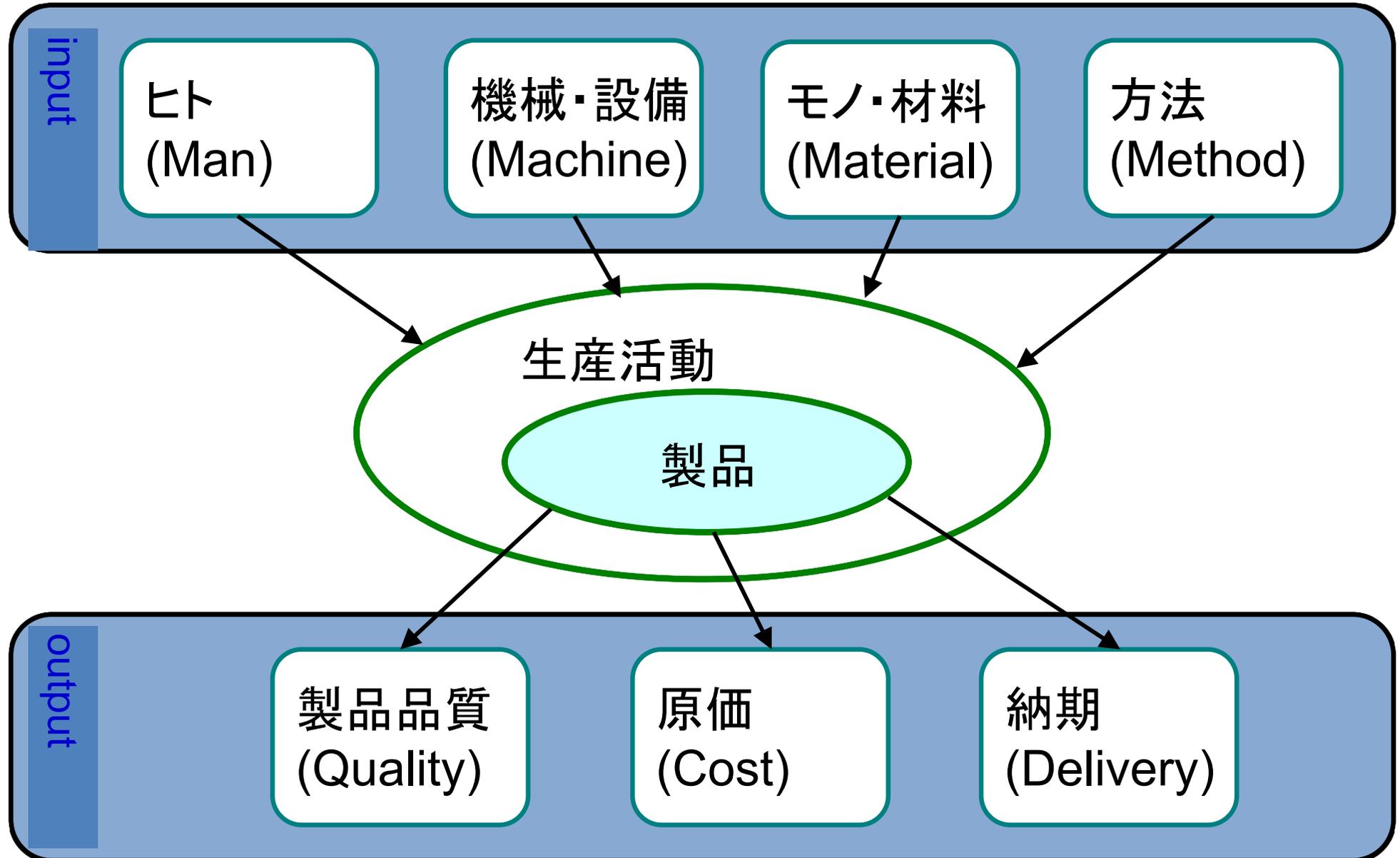
異常処理とは

異常とは、作業者が作業中にいつもと何かが違うなと感じた状態の事をいいます。したがって作業現場における異常とは、**生産の4M**に関する内容や製品の**QCD**に関する内容など、作業に関するあらゆる状態が関係してきます。

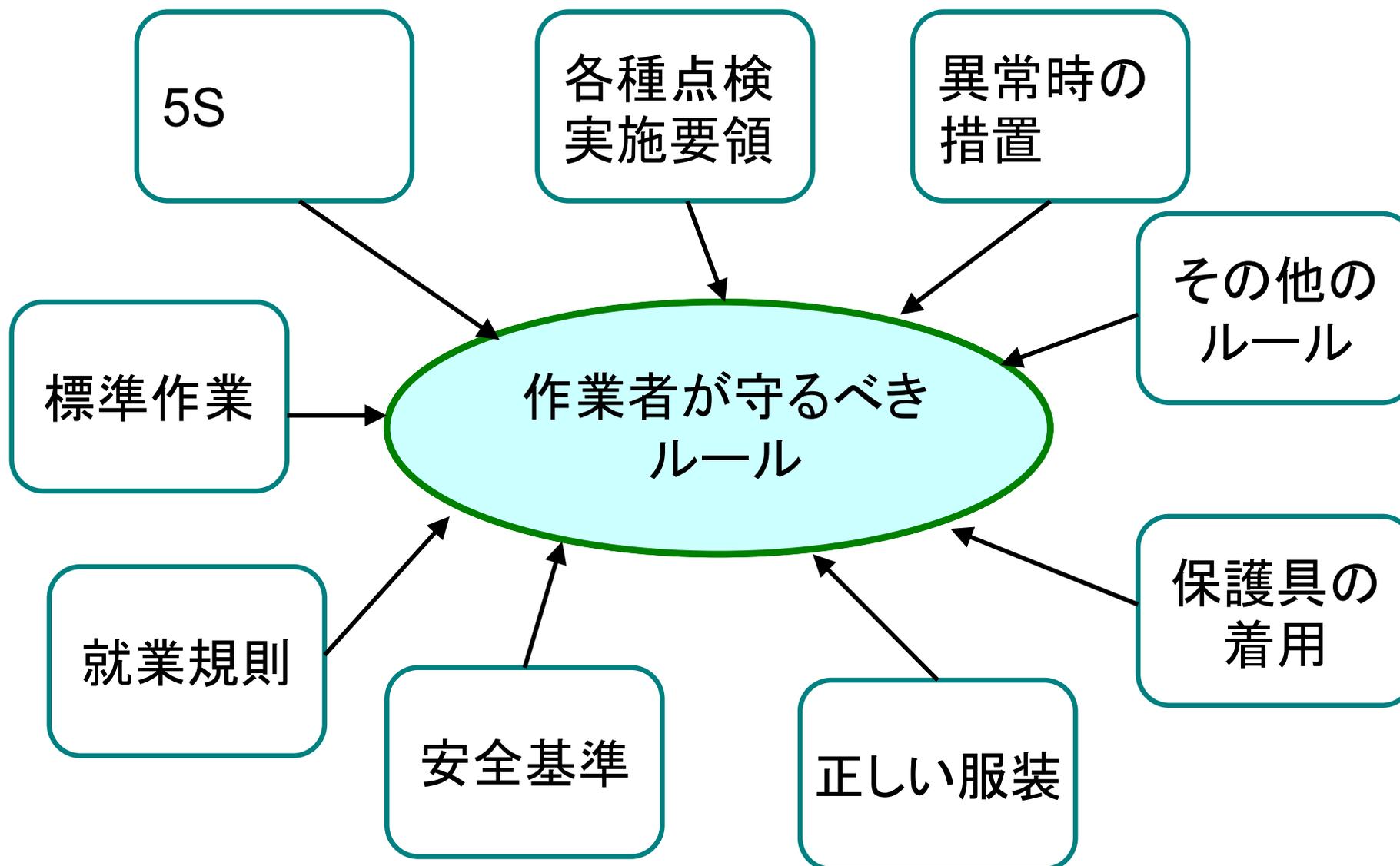
これらの多くの異常のうち作業中にいずれかの異常を感じた場合には、適切に対応して正常な状態に復元して再発を防止する事を、異常処理と呼んでいます。これら**異常処理**はスピーディーに対処する事が、作業現場に与えられた目標を達成するための生命線となり、ひいては企業に対する信頼度に大きな影響を与える事になります。

お願い：何か異常な状態を発生させてしまった場合や発見した場合は、速やかに、上司や会社の幹部へ速やかに連絡し、必要に応じて指示を仰ぐ事を忘れないようにお願いします。

生産の4MとQCD



作業者が守るべきルール



決めた事を必ず守る風土をつくるには

ルールの必要性を理解させる

ルールの作成は必要最小限

守れない理由を明確にする

守れない決め事であれば、守りやすいルールに改善する。

決めた事を必ず守る風土

三直三現主義とは

三直三現主義

問題が発生した場合には、

直ちに**現**場へ行って、

直接**現**物を調べ、

直ちに**現**実的な手を打つこと

三直三現主義とは、現場の改善活動における行動の基本を示したもので、広く一般に行われています。